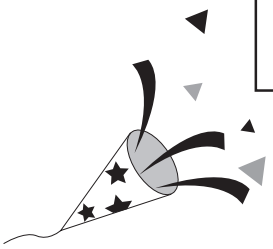
パパ大豆の

育児大好き

トト新聞



こんにちは、12月は「クリスマス」ですね！
リースやツリーにタペストリー、七面鳥にクリスマスケーキ・・・そしてプレゼント！！
なんだか街も賑やかにライトアップされ、愉快なクリスマスソングが流れていますね☆
ハッピーチャイルドではクリスマスラッピングも行っておりますので、お気軽にどうぞ

そして直ぐに「大晦日」がやってきますね。
年賀状の出し忘れを確認したら、大掃除にお正月(おせち、しめなわ等)の準備をして、
年越しそばをすすり除夜の鐘を聞く・・・師走だけあって大忙しですね；

今年も沢山のお客様と出会えた事を、本当に嬉しく思います。皆様、良いお年を～

MENU

★ **「子育て」と「ライフスタイル」そして「ワークスタイル」**
～ライフスタイルが一変するきっかけ～

★ **【育児お役立ちコラム】パパ大豆の「ネクタイとっておんぶひも」**
～「遊ぶこと」と脳の発達～

★ **パパ大豆の子育て豆知識**
～幼児の発達のエレベーター～

★ **子育て雑感**
〈育てたように子は育つ〉

★ **「楽しむ子育て」を始めた方たちからの声**
～たくさんいただく「うれしいお声」のほんの一部をご紹介!～

◎ **「楽しむ子育て広場」「トイフォーベビー」のご利用案内**
～赤ちゃんに「旬のおもちゃ」を与えたいと思ったら・・・・～

パパ大豆の「子育てひとこと語録」

どうしても子育てに煮詰まったときは、深呼吸して・・・
思い切って赤ちゃんから離れてもいいんだよ!
1日赤ちゃんと離れたら、また愛おしい気持ちが
あふれてくるよ。

パパ大豆

■育児大好きワイワイ新聞　発行の主旨

「育児が楽しい」と思える気持ちを、多くの育児にたずさわる人たちと共有できたら、もっと育児が楽しくなると思いませんか?
「わたしの子育て、これでいいのかしら?」といった悩みや不安を誰かに話し、「そういうの、あるある」と共感してもらえるだけで気持ちが少し楽になる・・・なんてことないですか? 「育児大好きワイワイ新聞」は、今よりもっともっと育児を楽しんで、育児を大好きになってもらうために、発行していきます。 なので、読者のみなさまも、どしどし「お声」をくださいね! 育児の中でうれしかったこと、悩んでいること、ご意見、ご感想なんでもけっこうです。その「みなさまからの声」を、今後の編集に生かしていこうと思っています。

【「子育て」と「ライフスタイル」そして「ワークスタイル」】

こんにちは、パパ大豆こと廣島です。
今朝は、一段と寒かったです。ホント冬になっちゃいましたね〜。

さて、今日は「子育てとライフスタイル」について、考えたいと思うんです。
子どもを授かって、親になった瞬間から、人生が変わりますよね。それは、みんな同じだと思うんです。
パパ大豆なんかは、妻と結婚しても、まだ「妻と2人家族」という意識はなくて、やっぱり「自分」という単位で、
物事を計っていたし、妻もそうだったと思うんです。
子どもを持ったら、いつの間にかその「自分」という「１」の単位が、一気に「家族」という単位になった気がします。

子どもが出来る前は、ボクは、正直言って「仕事人間」だったし、それがボクの中の「価値観の重要な部分」を
満たしてくれていたんです。その頃から、独立起業しようと志してはいました。

それは、今みたいなスタイルではなくて、もっと組織とか企業とかいったものでした。
いわゆるベンチャーですね。休みもなく働いて、組織を大きくする、そういうスタイルに憧れを感じていました。
だから、サラリーマン時代も、いわゆる「イケイケ社員」ですよね(^_^;)。売上げと実績をひたすら追っていくタイプ。
「ビジネスマン」と言われるのが、カッコイイと思ってた。

そして、長女のルカが生まれて、ボクの考えは徐々に変わっていったんです。
考えが変わったっていうより、圧倒的に大事なモノ、何をおいても大切な存在が出来て、
価値観が変わってしまったと言ったほうが、正しいかもしれないです。

そのころからです。「子育ての時間」と「仕事の時間」を、同一線上で考えるようになったのは。
「仕事」と同じくらい「家族の時間」を大切に思うようになり、物理的な時間として、もっともっと
「家族の時間」「子育ての時間」が欲しいと思うようになりました。そういう心の流れの中で、
2人目のソラが出来たことを「きっかけ」にパパ大豆は、サラリーマンンを辞めて、独立という道を選びました。

ボクの「独立」の動機は、今や「会社を大きくして儲けること」ではなくなっていました。
「仕事の時間を、自由にアレンジして、子育てや家族の時間を、最大限に持つこと」これが動機になっていました。

3年経った今、ようやくなんとなく形になってきました。朝5時に起きて、仕事をして、7時から8時半までは、
子どもの朝の支度やら保育園のお見送り、そして8時半から仕事再開。
夕方18時〜19時までに仕事を終えて、家族で食事。仕事が残っているときは、子どもたちが寝付いた夜22時ごろから、
再開。そうでない日は、子どもと寝る。

一日の仕事に従事する時間は、サラリーマン時代と変わらないけど、時間の使い方が、全く違う。
今の時点では、こうだけど、将来子どもが大きくなってきたら、また自分なりに時間の使い方をアレンジする。
独立によって、そういう「時間の使い方の自由」を得ました。

独立が良いの悪いの、という話ではなくて、つまり「子どもが生まれた」のを機に、ライフスタイルは、
多少なりとも（本音を言えば大きく一変するはず）変わるわけで、だから、その中での「仕事（ワークスタイル）」も、
心地よい範囲で変えていくのが、自然なんじゃないかと思うんです。サラリーマンでも、自営でも。男でも、女でも。

たとえば「仕事人間」の称号を、一旦は返上して、子どもが小さい間は、「家庭に生きる」。
そして、子どもが大きくなったら、徐々にまた「仕事中心のスタイル」に戻していく。
そういう考え方を、これからはしていってもいいと思うし、それが許される世の中に、していきたいですね。

もちろん、そう簡単じゃないし、キレイごとでもすまないと思います。
でも、そういう志を持つか持たないかが、とっても大きいと思うんです。
そして、それを実践する人が、増えていけば、やがては、それが「フツー」になるんじゃないでしょうか。

【育児お役立ちコラム】
パパ大豆の「ネクタイとっておんぶひも」

このコラムは、パパ大豆の育児日記「ネクタイとっておんぶひも」の過去のトピックからピックアップしてお届けしています。

＜「遊ぶ」ことと脳の発達＞

今日は、脳の専門家大島清さんの著書「子どもの脳力は９歳までの育て方で決まる」からの一節をご紹介します。

> 動物の脳は、生まれたときにほとんど成熟しているが、未成熟な部分が遊び、その遊びによって
> 脳が成熟していくのである。
> 遊びによって、精神の発達だけでなく、からだの発達も促進されているし、社会性も身に付いていく。
> 人間の赤ん坊は、親や兄弟を相手にして遊ぶのはもちろん、ペットとも遊ぶし、人形やオモチャを相手にもする。
> 時には自分を相手に遊ぶこともある。
>
> （以上引用）

大脳生理学的な見地からも「遊ぶ」という行為が、精神と体の発達、そして社会性にもつながっているんですね。
先生は「お勉強重視」の現代の子育てが、脳の発達を乏しくさせ、また体力もとぼしくさせてしまうことに、
警鐘をならしています。
現代の子どもたちは、いわゆる「いい子」になってしまっていて、体格は向上したが、体力はかえって低下している、と。

「遊び」と「勉強」、「遊び」と仕事」などとボクら大人は分けて考えてしまい、「遊んでばかりいたら、
ろくな人間にならない」なんて言われてたし、そう思ってもいる。
でも、実際には、「遊び」といのは、勉強とか仕事と言った行為とも密接に関わっているようです。
言ってみれば、「しっかり遊ばないと、ろくな人間にならないよ」ってことですよね。

４月から小学校に入ったルカの学校の話を聞くと、それも「なるほど」と思います。
まだ１年生の１学期だからかもしれませんが、ルカにとって、授業は「遊び」みたいなもんなんです。
だからこそ、「授業が楽しい」と言います。
「○○ちゃんと、△△して遊んだんだよ」と言うときと同じ調子で、学校の授業の様子を語ります。

もちろん、これは先生の教え方の上手下手も関係することでしょう。
同じ学習指導要領のもとに授業を進めても、やり方や授業の雰囲気は、先生によって全く違いますから。
少なくとも、授業が楽しいと思っている今は、「お勉強」ではなくて「遊び」の要素が強く、
右脳と左脳を協調させて取り組むような内容なんだと思います。

でも、そのうち、だんだん勉強の中に遊びの要素は消えていき、右脳的な要素もなくなっていきます。
「勉強＝イヤなもの」と、だんだんなってきます。そうなってからも、「お勉強偏重主義」にだけは、ならないように
しなくてはいけないなあ、と思います。学校の授業が「お勉強」になってきたとき、親があまりにも、授業や宿題、
家庭での勉強に価値観を置いてしまうと、たちまち子どもは窮屈になってしまいます。「遊ぶ」ことが「罪」みたいに
なってしまいます。そうすると、脳も体も発達が乏しくなってしまうことを、肝に銘じておきたいです。

やっぱり、小学校のうちは、「遊ぶ」ことを一番に考えるくらいで、親としてはちょうどいいのではないでしょうか。
「授業」というかたちで、イヤでも子どもたちは勉強する時間を持っているんだから、それ以外の時間を遊んでいる
くらいが、調度よいとパパ大豆は思っています。
だって「遊び」だって、立派に子どもの発達に大きく寄与してるわけだし、学力を身につける「勉強」だって、
脳が豊かに発達しているほうが、はかどるものだ、って思います。

【パパ大豆の、子育て豆知識】

＜幼児の発達のエレベーター＞

きょうは、シアーズ博士の「チャイルド・ブック」から、「幼児の発達」のとっても重要な「考え方」をご紹介しますね。
具体的な、方法論とかじゃなくて「考え方」です。

幼児の発達は、以前はエレベーターのように考えられていました。赤ちゃんが育ち、
それぞれの新しいフロアに到着するとドアは自動的に開いて、新しい発達段階がやってくる、というように。

適切な子育てと良好な健康状態、十分な栄養を与えられれば、ほとんどの赤ちゃんが自然に決められたペースで、
一つの発達過程の段階を卒業し、一つ上の段階へと向かうでしょう。これはもともと備わっている「遺伝による」
という考え方です。この考え方の中では、良い子育てや環境による刺激は、最小限の役割しか果たしません。
しかし現在では、子どもがどのような環境で育つかが子どもの育ち方に大きな影響力があると、
研究者は信じています。

エレベーターと似た論理を使うと、赤ちゃんは生まれつき備わっている能力で、それぞれの発達段階に到達します。
たとえば、赤ちゃんが何かにふれたりおしゃべりを始める準備はすでに出来ている、と仮定しましょう。
この能力をどうしたらもっと伸ばしてあげられるかは、触れるものがあらかじめきちんと用意されているか、
赤ちゃんが声を発したら笑顔で歓迎され、養育者が良い反応をしてくれたか、
ということなどによって異なってくるのです。

養育者が、赤ちゃんの新しい発達に反応すると、赤ちゃんはその練習をさらに楽しんでするようになるのです。
そうやって子どもは、次の発達段階により多くのものを持って上がり、次々に積み上げていくのです。

シアーズ博士夫妻の「チャイルドブック」　より

親（養育者）が、反応してあげること。これって、とっても深い意味がありますね。
だって「反応する」ためには、子どものことを、よく見ていてあげる必要がありますよね。
そして、「よく見てあげて、よく反応してあげる」ことは、子どもとのアタッチメント（愛着関係）を育みます。
そうすれば、子どもは、もっともっと楽しんで、発達課題に取り組むだろうし、親のほうも、子どもをよく見ているから
こそ、次に何を与えれば良いのかが、よく見えるというわけです。まさに「相互作用」「好循環」ですね。

そういえば、何時だったかローカルのニュースで、「ベビーサイン」の特集をやっていました。
この「ベビーサイン」も、考え方は似ていると思います。言葉を話す前の赤ちゃんに、ボディランゲッジのような
「ベビーサイン」を教えることで、赤ちゃんとコミュニケーションをとって、赤ちゃんの要求に、より的確に応える。
そうすることで、赤ちゃんとのアタッチメント形成にもなり、赤ちゃんの要求がわかることで、グズリも減って、
育児ストレスの減少にもなるってわけですね。
この「ベビーサイン」に取り組むお母さんがやっていることは、赤ちゃんのことを、よく見て、
反応してあげるということに他なりません。もちろん「ベビーサイン」には、もっと別の目的があるんでしょうけど、
根本的な「考え方」としては、通じてると思います。「タッチケア」なんていうのも、そういう意味では同じですよね。

赤ちゃんを「見る」こと、「知る」こと、「反応する」こと。それによって、赤ちゃんは、今の発達課題をより楽しみ、
より深く取り組み、そして、より多くのものを持って、次の段階へと、エレベーターをのぼるんですね。
これに付け加えるなら、親（養育者）だって同じように、「親としての成長のエレベーター」を昇るんじゃないでしょうか。
赤ちゃんが何を求めているか、今どんな段階なのか、そんなことを試行錯誤の中で感じながら、
赤ちゃんと触れ合うことで、アタッチメントを深めていく。

ときどき、こういう「原則の考え方」について、改めて考えてみることも必要だなぁ、って感じます。
「あれがいい、これがいいらしい」という情報が氾濫していて、何が大切なのか見失ってしまいそうになること
があります。そんなときには、原則に立ち返ってみると、見るべきものが見えてくるのではないでしょうか。

【子育て雑感】

＜育てたように子は育つ＞

きょうは、パパ大豆の大好きな相田みつをさんの詩をご紹介します。
詩という言葉、書という見せ方で、こんなにも心が穏やかになるものなのか、といつも思います。
活字では、相田さんの「書」に込められた「思い」が伝わらないのが残念です。
ぜひ、一度読んでみてください。

相田みつを「育てたように子は育つ」

アノネ
親は子供を
みているつもりだ
けれど
子供はその親を
みているんだな
親よりも
きれいな
よごれない眼
でね　　『しあわせは　いつも』所収

この詩に対して、児童精神科医の佐々木正美先生は、こんな風にコメントしてます。

結局は、子どもたちは、育てたように育っていく、育っていってくれる。そう信じられる親になりたい、
大人になりたいと思う。親が子どもの心を知っているよりも、子どもは親の気持ちをずっとよく知っている、
相田さんもそう言っている。

親が思っている以上に、子どもは親のことを見ているし、親の心の奥底をも見抜いている。
本当にそう思う。時々「ドキッ」とすることがある。そう、ルカやソラが発するボクに対する言葉が、
あまりにも真をついているときがある。

だからこそ、自分も成長できるんだと思う。しなきゃいけないんだと思う。俗っぽい言い方をあえてすれば
「子どもにまっとうに育ってほしいなら、自分がまっとうにならなきゃいけない」

子育てをしていると『心から』幸せを感じたり、楽しんだり、悩んだり、苦しんだり、落胆したりする。
そういう心の葛藤が、親としての自分を、少しずつ成長させてくれる。それは、人間としての成長でもある。

子どもは、その「よごれない眼」で、親の「心の葛藤」を見て、感じているんだと思う。子どもならではの才能だ。だから、親の気持ちを、時には親自身よりも、見透かしているんだと思う。

親は、子どもが親の心を見るほどには、子どもの心が見えない。
悲しいけど、親は「子ども」じゃないから仕方ない。
でも、もしかしたら、親の方は「子どもの心」がすべて見えている必要は、ないんじゃないかと思う。

ただ、「親としての思い」が子どもに伝わっていると信じて、そして、あとは子どものやることを静かに、
黙って見守っていれば。そして、いつでも、子どもを受け入れてあげていれば。それでいいのかもしれない。

相田さんの詩を読むと、「子育ての原点」、「生きるということの原点」について考えさせられる。
そして、いつもそれは、楽観的で、安らぎと愛情に満ちている。

「楽しむ子育て」を始めた方たちからの声
～たくさんいただく「うれしいお声」のほんの一部をご紹介！～

布絵本

くいしんぼうルルー
仕掛けいっぱい絵本

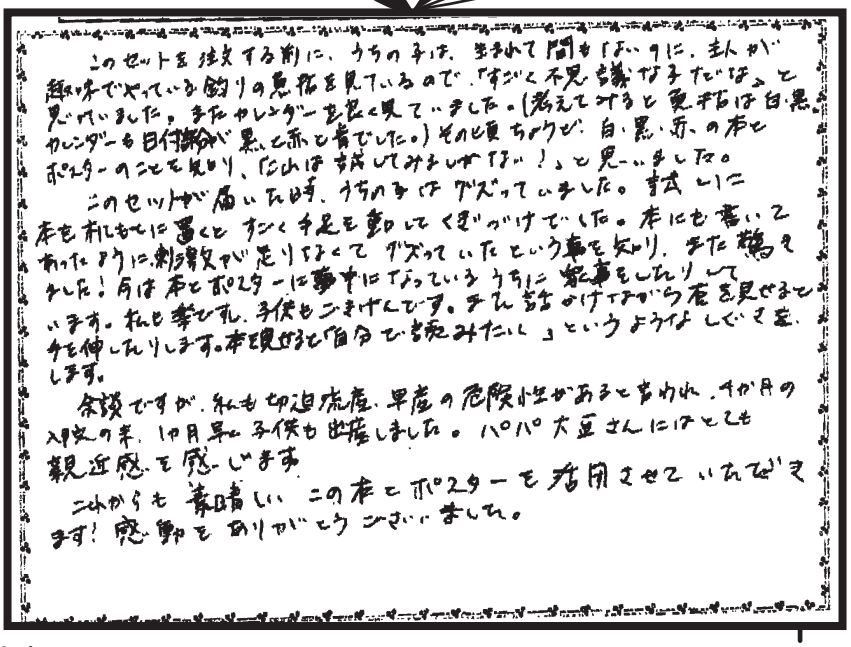
こんにちは!!　布絵本を購入した○○です。　昨日、無事に商品届きました。　ありがとうございました。

思った以上のLovely♪さで感激してしまいました。普通はプリントされた布絵本が割と多いのですが、
刺繍が細かくて文字までもが刺繍っていうのがすごいですねぇ。娘が大人になってもずーっと大事に持っていて
欲しい絵本です。もう少し早く楽しめる年齢になって気に入ってくれると嬉しいですね。

の布絵本はホントに楽しくて私が童心に返って遊んでしまいました。
娘がもう少し大きくなったら一緒に遊びたいと思います。
ありがとうございました。　　S様より

トータルプレイグラウンド

白黒赤



このセットを注文する前に、うちの子は、生まれて間もないのに、主人が趣味でやっている釣りの魚拓を見ているので、「すごく不思議な子だな」と思っていました。またカレンダーを良く見ていました。(考えてみると真っ白は白黒カレンダーも日付数字が黒と赤と青でした。)その頃ちょうど、白、黒、赤の本とポスターのことを知り、「この子は試してみるしかない！」と思いました。

このセットが届いた時、うちの子はグズっていました。試しに本を机もとに置くとすごく手足を動かしてくぎづけでした。本にも書いてあった様に刺激が足りなくてグズっていたという事を知り、また驚きました！今は本とポスターに夢中になっているうちに寝返りをしたりしています。私と夢中で、手伝もこまめです。子ども話かけながら右を見せたり手を伸したりします。本当に好奇心旺盛で「自分で読みたい」というようなしぐさをします。

余談ですが、私も切迫流産、早産の危険性があるとされ、7か月の入院の末、10月早々子供も出産しました。パパ大豆さんにはとても親近感を感じます。

これからも素晴しいこの本とポスターを活用させていただきます！感動をありがとうございました。

ジム

先日姪の出産祝いにモビール・
アクティビティー・プレイジムを注文
したものです。
本日午前中に無事到着したとの連絡をもらいました。
蜂さんがとても可愛いこと。マットがふかふかなこと。
寝かせてみたら、生まれてまだ一と月に満たないのですが、
さっそくオルゴールの鏡に興味津々なこと等、写メールで伝えてきてくれました。

気に入ってもらえたようで、こちらもうれしい限りです。このたびはどうもありがとうございました。
迅速で、ご丁寧な対応をしていただき、心より御礼もうしあげます。　ますますのご活躍をお祈りしています。

T.A様より

先日プレイジムを購入いたしました○○です。
今日もジムで一緒に遊び、親子共々楽しい時間を過ごすことができました。
娘の「キャー」という嬉しそうな声を聞き、
買ってよかったなぁ、と改めて感じています(^_^)

匿名希望様より

ミュージカル
テイクアロング
アーチ

おもちゃ・家具など

先日、2歳の娘のためにトリップトラップを購入しました。

もともとは、「姿勢良く育てばいいなー」ということと「一生モノだしねー、お嫁にも持っててもらおう」と
思い切って購入したのですが、思わぬ効果がありました。

もともと家の娘はとても少食で、毎日食べさせるのに一苦労。ダイニングテーブルにつかせるのも大変です。
親としてはもりもりたくさーん食べてほしいのですが、本人は持ったくその気なし・・・。

でもトリップトラップが届いて、ダイニングテーブルに置いてみると、超大喜び!
その日の晩ご飯はいままでにないくらいたくさーん食べられました!
思わぬ効果で私も大満足です。ありがとうございましたm(__)m。

S様より

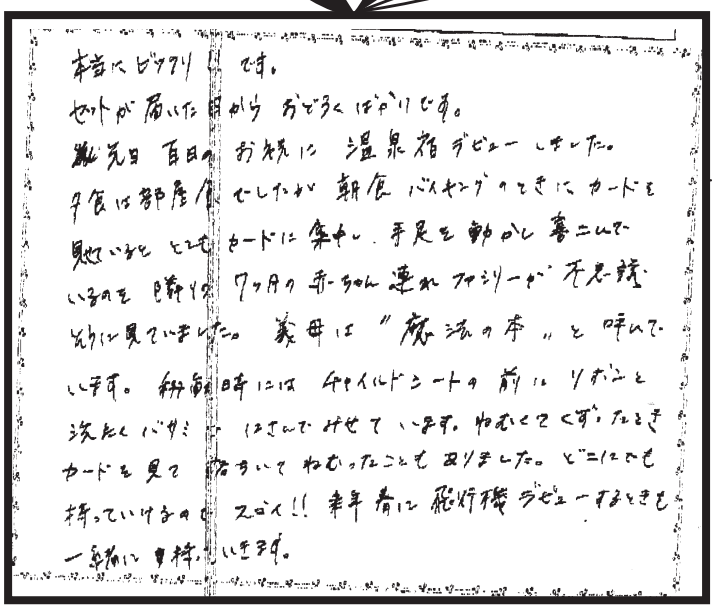
大のお気に入りのこのバギー。２台めのこちらは、実家置き用として購入しました。
ＡＢ型を使ってる友人全員にうらやましがられます。
オススメ!

Ｕ様より

ありがとうございました。ベビーカーのオモチャ無事に夕方到着致しました。思っていたよりも超かわいいです!
息子も気に入ったようで袋から出したとたん、歩行機に乗って飛んできました。
今日１日は歩行機の上で持って遊ばせて、明日からは早速バギーに取り付けてあげたいと思っています。

匿名希望様より

白黒赤



本当にビックリ です。
セットが届いた日から おどろくばかりです。
最先日 百日の お祝に 温泉宿デビュー しました。
夕食は部屋食でしたが 朝食 バイキングのときに カードを
見ていると とても カードに 集中し、手足を動かし 喜ぶんで
いるのを 隣りの 7ヶ月の 赤ちゃん 連れ ファシリーが 不思議
そうに見ていました。 義母は "魔法の本" と呼んで
います。 移動時には チャイルドシートの前に リボンと
沢たくバサミ はさんで みせています。 ねむくてくずったとき
カードを見て 落ちいて ねむったことも ありました。 どこにでも
持っていけるので スゴイ!! 来年春に 飛行機デビューするときも
一緒に 持っていきます。

こんにちは!○○です。
この間プレゼントで頂いたバウンサー、
生後２週間ほどのわが子も、しっかり光と
トロピカルな音を楽しんでいるようです。

首がすわるまでは手の支えはいるかもしれないけど
私と一緒に遊んでいるようで、
これはこれでｇｏｏｄです。
長く愛用できるモノなので、本当にありがたいです。
重ね重ね感謝です♪

（ライトアップバウンサーをプレゼントされたお客様より）

K`s Kids ラーニングシューズ

『世界の赤ちゃんおもちゃトイフォーベビー』 ご利用案内

赤ちゃんに「旬のおもちゃ」を与えたいと思ったら･･･
トイフォーベビーで、あなたの赤ちゃんの発達ステージにピッタリ合った「旬のおもちゃ」」がきっとみつかります

■ STEP1 まずは商品を品定め!お子さんの月齢に合ったおもちゃをみつけよう!

http://www.toy4baby.com/

上のURLをブラウザー(インターネット・エクスプローラーなど)に入力してください。
もし、おもちゃの選び方で迷ったら、いつでも気軽にご連絡ください!
・お電話なら･･･フリーダイヤル: **0120-1141922(い～よ、いくじに)**

■ STEP2 赤ちゃんにピッタリのおもちゃがみつかったら、早速注文!

インターネットでご注文

ご希望の商品の商品ページの「買いものカゴに入れる」のボタンを押すと、買い物カゴに商品が入ります。さらに買いものを続ける場合は、「買いものを続ける」ボタンを押すと、先ほどの商品のページに戻りますので、続けてほかの商品を買いものしてください。

ご希望の商品がすべて買いものカゴに入りましたら、「次へ」のボタンを押して、購入情報を入力してゆきます。最後に内容を確認して、「この内容で注文する」のボタンを押せば、注文完了です。

注文後すぐに、自動返信メールにて、ご注文内容の控えをお送りしております。その翌営業日(土日除く)に、当店サポートスタッフより、ご注文確認と発送予定をお知らせします。

FAX、Eメールでご注文

FAXフリーダイヤル ： **0120-220-960** (通話料無料)

Eメール ： **order@deez.co.jp**

FAXの場合お好きな用紙に下記の項目をご記入のうえ、上の番号にFAXしてください!
Eメールの場合、下記の項目を本文に書いていただいて

①名前 ②電話番号 ③商品番号・商品名・数量 ④お支払方法(代引き・クレジットカード・前払い銀行振込、郵便振替) ⑤ご注文者様住所・お届け先が別の場合お届け先住所と電話番号 ⑥宅配会社のお届け指定のご希望

電話でご注文

フリーダイヤル ： **0120-141922(い～よ、育児に)** (通話料無料)

お気軽に、質問しながら注文してください。おもちゃについてわからない事や疑問を解決しながら、商品をお選びいただけます!

■ STEP3

おもちゃが届いたら、その日から、いっぱい遊んで赤ちゃんと楽しい時間を過ごしてください!

発行 株式会社ハッピーチャイルド 愛知県名古屋市中区金山2-15-14 パックス金山4階

Copyright Happy Child Co.,Ltd. All Right reserved